

検査・試験・評価結果報告書

平成18年5月25日

頁	1
枚	5



株式会社 消費科学研究所
〒559-0034 大阪市住之江区南港北2丁目1番10号
ATビル O'S 605
TEL(06)6615-5285(代)・FAX(06)6615-5291
東京研究所
〒135-8510 東京都江東区木場2丁目18番11号
コアビル
TEL(03)3820-7330 ・ FAX(03)3820-7335

平成18年3月13日受付けました供試品の検査・試験・評価の結果をご報告申し上げます。

言己

承認	試験担当

1. 試験品: ユーハイ石鹸

計1点

2. 試験内容及び条件

(1) 試験品使用前後の皮膚のキメの変化

試験品使用前(初期)と使用後の皮膚のキメをマイクログラフにて撮影を行った。

<測定箇所>

額, 右頬部, 左頬部 合計3箇所

<測定倍率>

100倍

<評価回数>

初期, 17日後, 31日後, 45日後, 61日後 合計5回

(2) 試験品使用前後の顔の撮影

試験品使用前(初期)と使用後の顔をデジタルカメラにて撮影を行った。

<評価回数>

初期, 17日後, 31日後, 45日後, 61日後 合計5回

(3) 試験品使用前後の皮膚角質水分量の変化

試験品使用前(初期)と使用後の皮膚角質水分量の測定を行った。

<測定箇所>

額, 右頬部, 左頬部

<評価回数>

初期, 17日後, 31日後, 45日後, 61日後 合計4回

(4) 試験品使用前後の皮膚水分蒸散量の変化

試験品使用前(初期)と使用後の皮膚水分蒸散量の測定を行った。

<測定箇所>

額, 右頬部, 左頬部

<評価回数>

初期, 17日後, 31日後, 45日後, 61日後 合計5回

<測定環境>

23°C±2, 55%RH±5

モニターの方には, 環境試験室入室後, 約30分間試験室内にて安静を保ち環境に慣らしてもらう。

<測定日の外気温と湿度>

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
最高温度(°C)	6.5	11.9	17.2	18.4	17.7
最低温度(°C)	1.7	2.5	12.3	9.7	13.6
平均相対湿度(%RH)	53	58	76	63	85

<被験者>

女性 3名

	年齢
サンプルA	55
サンプルB	50
サンプルC	58

<使用期間>

3ヶ月間

3. 試験結果

(1)(2) 試験品使用前後の皮膚のキメの変化

※結果は別紙参照.

(3) 試験品使用前後の皮膚角質水分量の変化 (μS)

モニターA

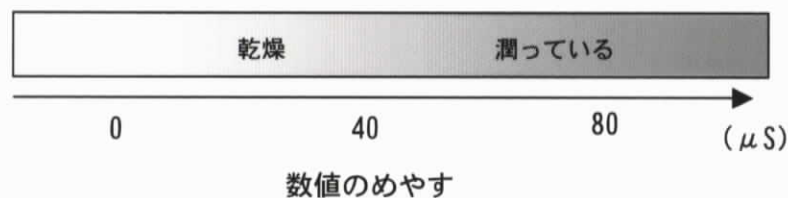
	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	91.8	104.2	111.6	111.2	110.4
左頬	87.0	90.2	109.2	107.0	107.4
額	127.0	128.0	138.2	131.0	133.2

モニターB

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	174.0	190.0	216.8	219.2	219.8
左頬	188.4	206.2	217.8	226.0	224.2
額	204.8	234.4	250.0	263.0	261.4

モニターC

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	162.6	163.0	166.4	244.2	250.4
左頬	180.6	187.0	200.0	218.8	213.2
額	92.2	116.8	131.0	159.2	161.6



(4) 試験品使用前後の皮膚水分蒸散量の変化 (g/hm²)

モニターA

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	8.55	7.52	6.56	4.08	2.23
左頬	10.93	10.70	9.03	6.00	4.87
額	16.00	14.36	6.78	5.85	2.48

モニターB

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	9.62	8.23	5.47	5.06	4.01
左頬	12.65	10.47	9.57	6.64	5.72
額	15.15	12.95	11.12	7.59	4.87

モニターC

	初期 3月13日	17日後 3月30日	31日後 4月13日	45日後 4月27日	61日後 5月13日
右頬	11.57	11.37	10.68	8.63	7.92
左頬	14.63	11.87	12.19	8.00	5.79
額	16.21	15.88	12.57	11.47	9.34

※g/hm² : 1時間に1平方メートルあたり何グラムの水分が蒸散しているかを示す。

4.考察

モニターA	皮膚のきめ	右頬	大きな変化は見られない。
		左頬	初期にくらべキメが整っている。
		額	おおきな変化は見られない。
	皮膚角質水分量		全ての部位について水分量の上昇が見られる。
	皮膚水分蒸散量		全ての部位について蒸散量の低くなる傾向が見られる。
モニターB	皮膚のきめ	右頬	初期にくらべ60日後はキメが深くなっている。
		左頬	初期にくらべキメが整っている。
		額	おおきな変化は見られない。
	皮膚角質水分量		全ての部位について水分量の上昇が見られる。
	皮膚水分蒸散量		全ての部位について蒸散量の低くなる傾向が見られる。
モニターC	皮膚のきめ	右頬	初期にくらべキメが整っている。
		左頬	初期にくらべキメが整っている。
		額	おおきな変化は見られない。
	皮膚角質水分量		全ての部位について水分量の上昇が見られる。
	皮膚水分蒸散量		全ての部位について蒸散量の低くなる傾向が見られる。

今回の試験結果から、皮膚のきめについては被験者間や部位に差が見られたが、頬部においてキメが深くなったり、整うと言った被験者が見られた。
 皮膚角質水分量については全てのモニターに上昇傾向が認められた。皮膚水分蒸散量についても全ての被験者について減少する傾向が認められた。
 このことから試験品の保湿効果が確認された。

－ 以上 －